

株式会社アーキビジョン二十一さま サステナビリティ経営への取組み



北洋銀行 ソリューション部

北海道共創パートナーズ コンサルティング事業部

アーキビジョン二十一様が設定した目標・KPIは概ね順調に進捗しています。

環境面においては、CO2排出量の可視化に向け、社内体制の構築を進めています。

社会面においては、人材育成ツールを活用した研修や、賃金のベースアップに取り組まれ、従業員の働きがい向上に努めています。

経済面では、自治体との連携により「スマートモデューロ」の普及を進め、地域課題解決に貢献されております。

これらの取り組みにより、今後もさらなるポジティブインパクトの創出が期待されます。

SDGs達成とインパクトへの取組み

環境：事業を通じた環境負荷の低減

- 2024年度は、CO2排出量の可視化を算定する社内体制の整備に努めました。
- 今年度より、CO2排出量の算定をすすめてまいります。



【インパクトに基づく取組内容とKPI】

取組内容	KPI	目標		実績
		達成時期	数値等	
省エネ住宅の供給、事務所や工場の省エネ化、営業車のエコカー導入などによるCO2排出削減	CO2排出量の可視化	2025年5月期	可視化	実績なし



社会：従業員の働きがいと生産性の向上

- 2024年度は「GLOBIS」の法人向け研修ツールを導入し、従業員の人材育成ツールとして活用を開始しました。
- また、有給休暇取得率の向上にむけ、社内での周知や声かけを継続しました。



【インパクトに基づく取組内容とKPI】

取組内容	KPI	目標		実績
		達成時期	数値等	
従業員の働きがい向上	従業員満足度の向上	2026年5月期	可視化	実績なし
	従業員の平均賃金上昇(2024年5月期比)	2031年5月期	20%以上	5%
人材育成の強化	大型自動車免許かつ牽引自動車免許保有者増加	2031年5月期	30名	18名
働き方改革によるワークライフバランスの向上	有給休暇取得率向上	2026年5月期	70%以上	63%

経済：スマートモデューロの提供による豊かな生活の実現、地域のレジリエンス向上、地域経済の循環

- 2024年度は、自治体との連携を強化することで、災害協定を締結した自治体の件数を大きく増加させました。また、SMOを活用した被災地の支援など、社会課題の解決に向けた取り組みをすすめました。
- 今後も、自治体との連携強化やSMOの備蓄戸数を増加させ、レジリエントなインフラ構築に貢献してまいります。



【インパクトに基づく取組内容とKPI】

取組内容	KPI	目標		実績
		達成時期	数値等	
スマートモデューロ(SMO)の普及拡大による地域課題解決への貢献に向けた取り組み	SMO売上高の増加	2029年5月期	300億円	59億円
	災害協定を締結している自治体数	2031年5月期	500以上	198自治体
	SMOの備蓄戸数	2031年5月期	3,000戸以上	1,200戸
	SMOの備蓄戸数再利用率	毎年	100%	100%

